

# 2023 年度 事業報告

一般社団法人横浜みなとみらい21

# 2023 年度 事業実施状況

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

みなとみらい 21 地区は、現在 1,930 社の進出企業、13 万 4,000 人の就業者、9,000 人の居住者、そして年間来街者は 7,730 万人と、多くの方が訪れる街となっています。また、街区開発の進捗率は、計画中・工事中も含め約 99%となっており、みなとみらい 21 地区全体の完成後の姿も見えてきています。

昨今の開発状況を見ますと、開発当初からの業務、商業、ホテル、住宅、文化、コンベンション施設などのさらなる立地に加え、大学、R&D 研究活動拠点、さらには質の高い音楽専用施設などの集積も進んでいます。

地区で稼働する全体のプレイヤーの姿が見えてきた中で、多様な施設、多様な企業、多様な周辺地区との相乗効果を発揮し、いかに人をひきつけ、活力をもって活動し、新たな価値を創造していくエリアとしていくのか、いわば、将来にわたり都市が稼働していく局面こそが、きわめて重要だと捉えています。

2023 年度は、防災を含めた街づくり調整、環境対策、文化・プロモーション、地域活性化推進などの事業を着実に進めるとともに、Music Port YOKOHAMA や Art&Museum City の推進、Web サイト・SNS を活用した情報発信を強化し、地区の魅力を多方面で発信いたしました。

また、みなとみらい 21 地区着工 40 周年記念事業では、実行委員会に参画し、地区内の土地・建物所有者、施設運営管理者等と連携しながら、シンポジウムの開催やメモリアルブックの発行、e スポーツ大会、ミートアップ 21、MM Grass Park 2023、Music Port YOKOHAMA キックオフイベント等、これまでの街づくりを振り返るとともに、今後の街づくりを展望する取組を実施いたしました。

## 1 事業構成

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| (1) エリアマネジメント推進事業    | ア 街づくり調整事業       |
| (2) 横浜都心電波対策事業       | イ 環境対策事業         |
| (3) 広告・イベントスペース等運用事業 | ウ 文化・プロモーション事業   |
|                      | エ 地域活性化推進事業（その他） |

## 2. 実施状況（総括）

### (1) エリアマネジメント推進事業

#### ア 街づくり調整事業

##### ○安全・安心な街づくり

- ・来街者・就業者等一般向けの「帰宅困難者支援ガイド 2023」（防災マップ）について、最新情報に 4ヶ国語版を更新のうえ、みなとみらい 21 街づくりサイトに掲載。日英語版については、印刷のうえ施設等に配布した（6月）。
- ・災害時の情報受伝達や帰宅困難者対応等のマニュアルである『災害時行動ガイド』など、地区の防災取組を共有することを目的として、「防災担当者会」を開催。地区内各施設の防災担当者の顔が見える場づくりとすることができた。また、あわせて、災害時の自助・共助をテーマとした「防災講演会」を実施した（9月）。

- ・地区内の就業者を対象に防災に関する啓発・研修活動の一環とした「普通救命講習会」の開催（12月 計2回実施）。
- ・災害発生時に地区全体で協力し合う意識を高めるとともに、地区内就業者や住民の参加による合同防災訓練及び IP 無線機を活用した情報受伝達訓練を実施した（3月4日）。
- ・次年度の発行に向けて、一般向けの「帰宅困難者支援ガイド 2023」（防災マップ）を最新の内容にデータ更新した（3月）。

### ○来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

- ・駐車場案内システム協議会について、横浜市駐車場案内システムの見直しによる事業の停止、課題等を整理した結果を基に、協議会の解散総会を開催した（3月）。

### ○街づくりの誘導・調整、情報発信

「街づくり基本協定運営委員会」では、中央地区の各所で進む街区開発について協議のうえ、承認した。

街づくり行為の承認：【第1回 53, 60・61 街区】

暫定土地利用の承認：【第2回 43 街区】

街づくり行為の承認：【第3回 52, 53 街区】

暫定土地利用の承認：【第3回 57 街区】

屋外広告物申請：【第4回 26 街区】

### ○「公共空間の活用と都市デザイン」事業

- ・地区内の公共空間にて、「みなとみらい STREET MUSIC」を実施し、賑わいの創出を図った。新たな会場を加えて、3月までに地区全体で計605回の公演が実施された。
- ・新高島地区では、BankART Station において、交流会を月1回程度実施するとともに、交流イベントを実施した（12月）。

### ○みなとみらい21 地区着工 40 周年記念事業

みなとみらい21地区着工40周年記念事業実行委員会と連携し、事業を円滑に実施した。

- ・実行委員会開催（5月、9月、3月）

- ・ミートアップ21

会場：神奈川大学みなとみらいキャンパス1F レストラン VOYAGE

参加者：計233名

7月：#0「キックオフ」（参加者：20名）

#1「eスポーツ」（参加者：19名）

8月：#2「Kアリーナ横浜」（参加者：50名）

9月：#3「MM21 マスタープランの原点」（参加者：24名）

10月：#4「フोटोकロニクルー森英夫が見たみなとみらい」（参加者：16名）

11月：#5「ラグビーの魅力、地域とスポーツのこれから」（参加者：24名）

12月：#6「夜にあらわれる光の横浜〈ヨルノヨ〉」（参加者：20名）

1月：#7「アントレプレナーシップをもって突き抜けよう」（参加者：20名）

2月：#8「横浜中華街の歴史と横浜春節祭」（参加者：22名）

3月：#9「横浜トリエンナーレ、今後の展開」（参加者：18名）

- ・e スポーツ大会
  - 第1回（8月） 70 団体、約 100 名が参加  
（会場：京セラ株式会社 みなとみらいリサーチセンター）
  - 第2回（10月） 40 団体、約 70 名が参加  
（会場：BARRe1（横浜駅東口））
- ・MM Grass Park 2023
  - 時期：10月6日（金）～11月5日（日）
  - 会場：グランモール公園（美術の広場を中心に展開）
  - 内容：人工芝の敷設、テーブル・椅子等の設置、及びファニーチャー、キッチンカー等くつろぎ空間の提供、様々なイベント（音楽・ダンス・スポーツなど）を通じた人々の交流の創出。  
「Music Port YOKOHAMA」と連携した音楽イベントの開催（11月3日）
- ・40周年記念メモリアルブック発行
  - 時期：10月27日（金）
  - 内容：みなとみらいの40年の軌跡と、未来に向けた最新情報を紹介。地区内商業施設等で無料にて配布。全12ページ・3万部
- ・Music Port YOKOHAMA キックオフイベント
  - 日時：11月3日（金）
  - 場所：ランドマークプラザ「サカタのタネガーデンスクエア」  
グランモール公園「美術の広場」
  - 内容：FMヨコハマの公開収録や、ライブパフォーマンス、音楽と連携したワークショップ等、音楽に関するイベントを開催
- ・シンポジウム『みなとみらいの未来を描く』大会議
  - 日時：11月8日（水）
  - 会場：神奈川大学みなとみらいキャンパス米田吉盛記念ホール
  - 内容：基調講演及び5人の登壇者によるトークセッション（オンライン併用）、参加者を交えた交流会
- ・Music Port YOKOHAMA 回遊促進実験
  - 日時：2024年2月9日（金）～29日（木）
  - 場所：みなとみらい21地区
  - 内容：ソニー株式会社の Sound AR™サービス「Locatone™（ロケトーン）」を用いて、『Music Port YOKOHAMA チャンネル』を開設し、2024年2月24日（土）、25日（日）にKアリーナ横浜で開催される公演の『アイドルマスター ミリオンライブ！』と連携して『ミリオンおさんぽツアー in みなとみらい』を開催。
- ・広報
  - 時期：7月～
  - 内容：キービジュアルの作成、記者発表の実施、特設サイトの開設、地区内装飾、サイネージ等により広報展開を実施

## イ 環境対策事業

### ○スマートなまちづくりの実現に向けた取組

#### ◇スマートシティの推進

- ・2019年度に「重点事業化促進プロジェクト※」として選ばれたスマートシティモデル事業（国土交通省）について、当地区の実行計画策定に向けて、昨年度

作成した素案を基に、関係者と協議を行い、実施状況や他都市での参考事例等を確認しながら各取組テーマの課題・目標・基本構成等を整理して実行計画(案)の詳細検討を実施。横浜市、横浜未来機構や地区関係者とともに検討会3回を開催し、実施体制等の検討及び当地区のスマートシティ実行計画案を作成。並行して参加企業・団体の募集を行い、3月にコンソーシアムを設立してスマートシティ実行計画を策定。2024年度より運用開始。

- ・「公民連携で挑戦する大都市脱炭素化モデル」をテーマとして第1回脱炭素先行地域(環境省)に、横浜市とともに選定されており、ゼロエミッション分科会を中心に、横浜市や関係者と連携して脱炭素に向けた取組を推進した(4月~3月)。
- ・当地区内飲食店等で生じる食品廃棄物等のリサイクル取組の一つとして、廃食用油を航空燃料に再生する「Fry to Fly Project」に横浜市や地区関係者とともに参画。
- ・ペットボトルリサイクルの取組「ボトル to ボトル」の具体化検討を横浜市や地区関係者等と行い、本年1月末~2月末に飲料メーカーと共同で地区内37施設の参加による実証実験に取り組み、来年度下期からの本格運用に向けて検証・課題抽出を実施。
- ・2月のYOXO Festivalに横浜市と出展して、当地区の脱炭素の取組を広く地区内外に発信した。
- ・横浜市や地区関係者による当地区「スマートモビリティ検討会ワーキンググループ」で、「エコモビリティチャレンジ」の公募を実施。新サービスの実証実験や新たな技術・車両の展示等の提案が6社からあり、関係者と調整して当地区内での実証実験や展示・試乗の提案事業に関して検討を進め、展示・試乗会3回とイベント時の複数キッチンカーへの燃料電池バスからの電源供給1回及びカーシェア等の実証実験5回を実施した(~3月)。
- ・「横浜市パーソナルモビリティツアー実証実験推進協議会」に参画し、有料公道走行実証実験を行い、3月末までに200回のツアーを実施して、計570人の参加者があった。
- ・本年7月の道交法改正に対応した、電動キックボードのシェアリング実証実験については、複数の大規模集客施設における本格稼働の検証及び回遊性向上に向けた検討を行うため、当社団との二者協定により期間再延長を実施した。3月末までの乗車回数は約140,000回。

#### ◇水環境向上及び生物多様性に関する取組

自動車道護岸の実験場に関して、アマモ場の観察調査及び情報発信を継続して実施した。

#### ◇「緑・花」推進に関する取組

桜木町駅前広場において、季節感を演出する植栽を6回実施した。

### ウ 文化・プロモーション事業

#### ○都市観光・MICE等取組戦略

- ・委員会名称を「みなとみらい21ミュージックシティ推進委員会」から「Music Port YOKOHAMA委員会」に変更し、商標登録と委員会規約の改定を行った。また、関係企

業及び団体等が相互に連携し、ブランディングを推進するため、「Music Port YOKOHAMA 委員会の名義使用承諾に関する事務取扱要綱」を定めた（4月）。

- Music Port YOKOHAMA の取組を広く発信し、認知・賛同・参画の促進を目指し、40周年事業として Music Port YOKOHAMA のキックオフイベントを開催した（11月）。
- 公演前後に地区全体でプロモーションを行いやすい仕組みを構築するため、40周年事業としてソニー株式会社の Sound AR™サービス「Locatone™（ロケトーン）」を用いて、『Music Port YOKOHAMA チャンネル』を開設し、Kアリーナ横浜で公演する『アイドルマスター ミリオンライブ！』と連携した、『ミリオンおさんぽツアー in みなとみらい』を開催した（2月）。同時期に、同コンテンツと連携した回遊企画として『みなとみらいへ、ようこそ -MOM-』を開催し、ノベルティプレゼントキャンペーン、コラボ装飾、コスモクロックの演出等を実施した（2～3月）。
- みなとみらい STREET MUSIC については、演奏可能な場所を 24 箇所拡大するとともに、105 組のミュージシャンに 1 年間有効なパスを発行し、605 回の公演を実施した。（～3月）また、開港祭、BAY WALK MARKET 等、各種イベントとの連携により、ミュージシャンに多くの来場者の前で演奏できる機会の提供につながった。
- 公演前後の回遊促進策について、横浜市と連携して検討を進めている。Kアリーナ横浜開業を契機とした市内回遊策として、「ゆず×横浜」を実施し、コスモクロックの演出や、みなとみらい STREET MUSIC 等による街なかコンサート、限定ノベルティプレゼント、コラボ装飾等、ライブ前後で街を楽しんでいただける企画を行った（9月、11月）。
- ミュージアム施設の意見交換会を定期的に開催し、今後の展開等について議論するとともに、互いの施設を見学する機会を設け、相互理解の向上を図った。
- 地区内ミュージアムの認知向上と回遊促進を図るため、20 施設を掲載したマップを制作した（4月 26 日から配布開始）。
- 夏休みにあわせて、主に自由研究や小学生をターゲットとして、特設サイトを開設（6月 26 日～）したほか、夏休み ver. のマップ制作（6月 26 日～8月 31 日配布）を行った。

## エ 地域活性化推進事業（その他事業）

- 会員への情報提供として、会員・施設設置者連絡会宛に、地区内情報やみなとみらい 21 地区着工 40 周年記念事業に関する情報等を E メールにより配信した。  
（会員宛：59 件、施設設置者宛：22 件）
- 2021 年度から活動を開始した「横浜未来機構」の事務局を担っている。会員大交流会やクロストーク等の交流機会を設けるとともに、11 件の実証実験等のプロジェクトを立ち上げ推進するとともに、今年度新たに 3 件のプロジェクトを立ち上げた。さらに、アイデア創出ワークショップ、起業家マインド育成インターンシップ、人材交流事業（副業促進）、スタートアップ社会実証・実装プログラム等のイノベーション創出の土壌づくりを行った。  
また、2021 年度実施した市内大学との連携事業「SCORE」を引き継ぐ「YOXO カレッジ」や、MM スマートソリューションプログラムについても、当社団が事務局を担い、イノベーションを創り出す環境構築を進めた。2024 年 2 月には第 2 回「YOXO FESTIVAL」を開催。約 55,000 人以上の来場者を記録した。「YOXO FESTIVAL」においては、自動運転バスの公道走行実験等、MM スマートソリューションプログラム採択案件等のデモ・実証実験を実施した。

## (2) 横浜都心電波対策事業

- ・みなとみらい21中央地区の開発状況に応じたテレビ電波受信状況を把握するため、52街区、53街区について、現地調査に関する検討及び調整を行った(～3月)。
- ・53街区開発に伴うテレビ電波障害対策工事について、検討及び調整を行った(～3月)。

## (3) 広告・イベントスペース等運用事業

クイーンズスクエア横浜内の公共空間における広告・イベントスペースの運用を行った。昨年度に引き続き、クイーンモール天井の耐震補強工事が行われており、クイーンズサークル、大懸垂幕等が時限的に売り止めとなっている。一方、みなとみらいギャラリーについて、年間約92%の稼働率となり、コロナ禍前の水準に回復してきているほか、新規媒体開発や利用料見直しなど将来的な増収に向けた取組を進めている。

## 3. 会員・役員・職員の状況(2024年3月31日現在)

- 会員 正会員：88団体 準会員：3団体 賛助会員：52団体(計143団体)
- 役員 理事：11人 監事：2人
- 職員 21人

## 4. 基金の状況

2億8,500万円

## 5. 社員総会・理事会

### ○6月5日(月)2023年度第1回理事会

- 第1号議案 2022年度事業報告及び決算の件
- 第2号議案 2022年度公益目的支出計画実施報告書の件
- 第3号議案 社員総会招集の件
- 第4号議案 社員総会の付議事項の件
- 報告事項1 会員の退会の件
- 報告事項2 みなとみらい21地区着工40周年記念事業の件

### ○6月29日(木)第15回定時社員総会

- 第1号議案 2022年度決算計算書類の件
- 第2号議案 監事選任の件
- 報告事項1 2022年度事業報告の件
- 報告事項2 2022年度公益目的支出計画実施報告書の件
- 報告事項3 2023年度事業計画及び収支予算の件
- その他 みなとみらい21地区着工40周年記念事業の件

### ○6月29日(木)2023年度第2回理事会

- 第1号議案 役員賠償責任保険契約の件
- 第2号議案 正会員の入会の件

- 報告事項 1 会員の退会の件
- 11月28日（火）2023年度第3回理事会**
- 報告事項 1 2023年度上半期事業及び予算の執行状況の件
- 報告事項 2 会員の入退会の件
- その他 みなとみらい21地区着工40周年事業の件  
新年会員交流会の件
- 3月29日（金）2023年度第4回理事会**
- 報告事項 1 2023年度事業執行状況の件
- 報告事項 2 特定寄付及び公益信託の経過報告の件
- 第1号議案 2024年度事業計画及び収支予算の件
- 第2号議案 定款第35条に関する取引の承認の件
- その他 みなとみらい21地区着工40周年記念事業の件



## 街づくり調整事業

12,500 千円

街の安心と安全、来街者にとっての利便性や快適性の向上、その他各種調整や情報発信を行い、時代の変化に適応した街づくりを進めていきます。

## ○ 安全・安心な街づくり

### ◇みなとみらい21地区における地震等災害対策の推進



3,400 千円

【 総務部 】

#### 【実施状況】

##### 1. 帰宅困難者対策と一斉帰宅抑制の推進

来街者・就業者等一般向けの「帰宅困難者支援ガイド2023」（防災マップ）について、最新情報に4ヶ国語版を更新のうえ、みなとみらい21街づくりサイトに掲載。日英語版については、印刷のうえ施設等に配布した（6月）。

##### 2. 防災担当者会、防災講演会の開催

災害時の情報受伝達や帰宅困難者対応等のマニュアルである『災害時行動ガイド』など、地区の防災取組を共有することを目的として、「防災担当者会」を開催。地区内各施設の防災担当者の顔が見える場づくりとすることができた。また、あわせて、災害時の自助・共助をテーマとした「防災講演会」を実施した（9月）。

##### 3. 普通救命講習会

地区内の就業者を対象に、防災に関する啓発・研修活動の一環とした「普通救命講習会」を開催（12月 計2回実施）。

##### 4. みなとみらい21地区合同防災訓練

災害発生時に地区全体で協力し合う意識を高めるとともに、地区内就業者や住民の参加による合同防災訓練及びIP無線機を活用した情報受伝達訓練を実施した（3月4日）。

##### 5. 「帰宅困難者支援ガイド2024」（防災マップ）に向けた更新

次年度の発行に向けて、一般向けの「帰宅困難者支援ガイド2023」（防災マップ）を最新の内容にデータ更新した（3月）。

## ○ 来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

### ◇みなとみらい21街づくり状況の各種調査



800 千円

【 企画調整部 】

#### 【実施状況】

##### 来街者調査及び進出企業調査

地区内の来街者数や企業数の実態を把握し、街づくりの進捗状況に応じて、発生する課題やエリアマネジメント活動の効果を把握するため、「来街者調査」及び「進出企業調査」を11月に実施し、調査結果を取りまとめて横浜市記者発表・インフォメーションなどに反映した（～3月）。

## ◇みなとみらい21地区における交通対策の検討



3,000千円

【企画調整部】

### 【実施状況】

#### 歩行者及び自動車交通量調査

地区内における安心安全な歩行者動線の確保や、自動車交通の適正な処理等、交通環境の最適化に向けて、中央地区内の歩行者及び自動車交通量の調査を実施し、調査結果を踏まえた渋滞要因の分析と、対策案の取りまとめ及び、協議用資料の作成を行った。これを基に、複数の対応策について、管理者（道路管理者、県警本部）と協議を行いながら検討を進めた。

## ◇駐車場案内システム協議会の運営



【総務部】

### 【実施状況】

#### 1. 総会の開催

駐車場案内システムの運用を図るため、総会を開催した。

○第30回総会（7月24日 書面開催）

- ・2022年度事業報告及び決算（案）について
- ・2023年度事業計画及び予算（案）について
- ・報告事項 システム運営委託会社から2022年度報告書について

#### 2. 課題の整理

協議会の解散に向けて課題であった、入口案内板等の道路占用許可申請について、横浜市、会員と調整し課題解決を図った。（9月～1月）

#### 3. 解散総会の開催

横浜市駐車場案内システムの見直しによる事業の停止、課題等を整理した結果を基に、協議会の解散総会を開催した（3月）。

○第31回総会（3月18日）

- ・2023年度事業報告及び決算（案）について
- ・みなとみらい21駐車場案内システム協議会の解散及び規約並びに会費等算定基準の廃止の件について
- ・みなとみらい21駐車場案内システム協議会 残余財産の帰属の件について

## ○街づくりの誘導・調整、情報発信

## ◇みなとみらい21街づくり基本協定の運営【中央地区】



2,000千円

【企画調整部】

### 【実施状況】

#### 1. みなとみらい21街づくり基本協定運営委員会

- ・中央地区開発計画及び街づくり基本協定等の改定について審議した。

○第1回委員会（7月20日）にて、下記案件について協議のうえ、承認した。

[街づくり行為申請]

- ・53街区 みなとみらい21中央地区53街区開発事業計画（横浜シンフォステージ）サイン計画（ビルサイン除く）について
- ・60・61街区 Kアリーナ・プロジェクト（ミュージックテラス）アクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容、

サイン計画(低層部・地上・ペDESTリアンデッキ部)、  
夜間照明計画(地上・ペDESTリアンデッキ部)について

○第2回委員会(10月19日)にて、下記案件について協議のうえ、承認した。

[暫定土地利用]

- ・43街区 PRYME GALLERY みなとみらいの取扱いについて

○第3回委員会(12月14日)にて、下記案件について協議のうえ、承認した。

[街づくり行為申請]

- ・52街区 みなとみらい2 1中央地区 52街区開発事業計画  
計画内容の一部変更、工事計画、仮囲いデザインについて
- ・53街区 みなとみらい2 1中央地区 53街区開発事業計画(横浜シンフォステージ)  
アクティビティフロア、パブリックアート、  
夜間照明(高層外装)の一部について

[暫定土地利用]

- ・57街区 みなとみらい本町小学校の取扱いについて

○第4回委員会(書面)(3月21日)にて、下記案件について協議のうえ、承認した。

[屋外広告物申請]

- ・26街区 クロスゲート壁面 懸垂幕について

## 2. みなとみらい2 1街づくり基本協定運営委員会 専門部会

- ・街づくり基本協定及び関連細則に関する課題について、検討を実施した。
- ・4回開催(4月27日、6月22日、8月24日、11月16日)

### ■ 3月末件数実績

(1)承認通知書発行件数		(4)屋外広告物(バス停、パシフィコ横浜、その他)	
・街づくり行為	4件	・バス停広告	273件
(2)暫定土地利用		・動く歩道横断幕	18件
・申請件数	0件	・動く歩道フラッグ	54件
・届出件数	21件	・クイーンズ橋フラッグ	68件
(3)屋外広告物 (テナントサイン等)		・その他	85件
・申請件数	1件	(街灯フラッグ、MM駅連絡地下通路広告、案内広告等)	
・届出件数	90件		

## ◇「公共空間の活用と都市デザイン」事業



1,000千円

### 【企画調整部】

### 【実施状況】

#### 1. 「公共空間の活用と都市デザイン」事業

地区内の公共空間にて、「みなとみらい STREET MUSIC」を実施し、賑わいの創出を図った。新たな会場を加えて、3月までに地区全体で計605回の公演が実施された。



〈みなとみらい STREET MUSIC 実施風景〉

## 2. みなとみらい21公共空間活用委員会

総会及び委員会を開催して、オープンカフェ及びキッチンカー・マルシェの試験運用や、イベントに伴う公共空間の利用について審査して、地区内4施設でキッチンカーの試験運用を開始した。さらに公共空間の利活用の促進を図るための横浜市との協議で、公開空地の定例イベント等の年間申請が2024年度から可能となり、キッチンカー等の試験運用では実績のある施設の報告期間が2024年度は3ヶ月から6ヶ月に延長されるなど、手続方法等の調整を進めた（～3月）。

また、オープンカフェ等負担金の活用について検討し、当地区着工40周年記念事業「交流の場づくり・MM Grass Park 2023」開催時のグランモール公園人流データ等の蓄積・分析及び公共空間活用コンテンツの実証実験に活用する方針を決定し、1ヶ月間でのコンテンツ検証や人流測定・分析結果を委員会及び関係者に共有した（～3月）。

## 3. グランモール公園・新高島地区の活性化

「GOOD DAY PARK! 2023」実行委員会に参画し、グランモール公園での「GOOD DAY PARK! 2023」の開催を支援した（5月）。

また、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中止となっていた「グランモール公園夏祭り」の4年ぶりの開催を支援した（7月）。

新高島地区では、BankART Stationにおいて、交流会を月1回程度実施するとともに、交流イベントを実施した（12月）。



<GOOD DAY PARK! 2023>

### ◇街づくり調整委員会（部会）の開催



100 千円

#### 【 企画調整部 】

#### 【実施状況】

第1回街づくり調整委員会（11月13日）

- ・2023年度上半期の事業執行状況及び今後の予定について

第2回街づくり調整委員会（3月19日）

- ・2024年度事業計画（案）について

### ◇全国エリアマネジメントネットワークへの参画



200 千円

#### 【 企画調整部・事業推進部・総務部 】

#### 【実施状況】

全国のエリアマネジメント団体との交流及び情報収集のため、全国エリアマネジメントネットワーク（2016年度発足）の総会に参加した。

- ・第7期総会（9月8日、対面・オンライン等にて開催。）

また、全国エリアマネジメントを通して当地区40周年記念シンポジウムの参加者募集を行い、140名のオンライン出席者があった（11月）。

## ○ みなとみらい21地区の土地の公募業務

◇土地公募業務

【企画調整部】



1,000千円

### 【実施状況】

- 横浜市から、市有地である60・61街区の開発事業者公募業務を受託し、提案を受けた3件について調査・分析を行い、横浜市へ報告を行った（1月）。
- 横浜市の事業者決定公表について、エリアマネジメントサイトに掲載した。（2月5日）

## ○ みなとみらい21地区着工40周年記念事業

◇みなとみらい21地区着工40周年記念事業への参画

【総務部・事業推進部・企画調整部】



1,000千円

みなとみらい21事業の着工40周年にあたり、横浜市や地区に関係する企業・団体が中心となって組織する「みなとみらい21地区着工40周年記念事業実行委員会」に参画し、今後の新たなエリアマネジメントやまちづくりの展望を考える機会の創出に向けて取り組めます。

### 【実施状況】

みなとみらい21地区着工40周年記念事業実行委員会と連携し、事業を円滑に実施した。

#### 1. 実行委員会

- 第3回実行委員会（5月）：公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト審査結果を報告したうえで、事業概要等の事務局案を提示。意見交換を実施後、事業内容を確定。
- 第4回実行委員会（9月）：事業の進捗及び事業者の選定結果等の報告。
- 第5回実行委員会（3月）：事業実施内容と仮決算案について報告した上で、余剰金の取扱いと本年5月書面開催での実行委員会解散について決定した。

#### 2. 各事業の実施状況

- ・ミートアップ21：計10回開催、合計233名参加  
会場：神奈川大学みなとみらいキャンパス1Fレストラン VOYAGE

- 7月：#0「キックオフ」（参加者：20名）  
#1「eスポーツ」（参加者：19名）
- 8月：#2「Kアリーナ横浜」（参加者：50名）
- 9月：#3「MM21マスタープランの原点」（参加者：24名）
- 10月：#4「一フォトクロニクルー森英夫が見たみなとみらい」（参加者：16名）
- 11月：#5「ラグビーの魅力、地域とスポーツのこれから」（参加者：24名）
- 12月：#6「夜にあらわれる光の横浜<ヨルノヨ>」（参加者：20名）
- 1月：#7「アントレプレナーシップをもって突き抜けよう」（参加者：20名）
- 2月：#8「横浜中華街の歴史と横浜春節祭」（参加者：22名）
- 3月：#9「横浜トリエンナーレ、今後の展開」（参加者：18名）



<ミートアップ21>



## ・ e スポーツ大会

### 第1回

日時：8月25日(金)

会場：京セラ株式会社 みなとみらいリサーチセンター  
タイトル：グランツーリスモ7、ポケモンユナイト

参加：70団体、約100名



<e スポーツ大会 集合写真>

### 第2回

日時：10月27日(金)

会場：BARRe1 (横浜駅東口)

タイトル：グランツーリスモ7、ポケモンユナイト等

参加：40団体、約70名



<MM Grass Park 2023>

## ・ MM Grass Park 2023

時期：10月6日(金)～11月5日(日)

会場：グランモール公園 (美術の広場を中心に展開)

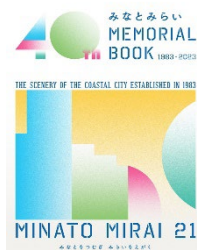
内容：人工芝の敷設、テーブル・椅子等の設置、  
ファニーチャー、キッチンカー等くつろぎ空間  
の提供、様々なイベント (音楽・ダンス・スポーツ  
など)を通じた人々の交流の創出。

「Music Port YOKOHAMA」と連携した音楽イベントの開催 (11月3日)

## ・ 40周年記念メモリアルブック発行

時期：10月27日(金)

内容：みなとみらいの40年の軌跡と、未来に向けた最新情報を紹介。  
地区内商業施設等で無料にて配布。全12ページ・3万部



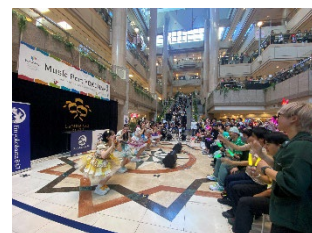
<メモリアルブック表紙>

## ・ Music Port YOKOHAMA キックオフイベント

日時：11月3日(金)

場所：ランドマークプラザ「サカタのタネガーデンスクエア」  
グランモール公園「美術の広場」

内容：FMヨコハマの公開収録や、ライブパフォーマンス、  
音楽と連携したワークショップ等、  
音楽に関するイベントを開催



<MPY キックオフイベント>

## ・ シンポジウム『みなとみらいの未来を描く』大会議

日時：11月8日(水)

会場：神奈川大学みなとみらいキャンパス米田吉盛記念ホール

内容：基調講演及び5人の登壇者によるトークセッション  
(オンライン併用)、参加者を交えた交流会



<トークセッション>

・ 広報

時期：7月～

内容：キービジュアルの作成、記者発表の実施、特設サイトの開設、地区内装飾、サインページ等により広報展開を実施。



〈キービジュアル〉



〈地区内装飾〉

・ Music Port YOKOHAMA 回遊促進実験

時期：2024年2月9日（金）～29日（木）

場所：みなとみらい21地区

内容：ソニー株式会社の Sound AR™サービス「Locatone™（ロケトーン）」を用いて、『Music Port YOKOHAMA チャンネル』を開設し、2024年2月24日（土）、25日（日）にKアリーナ横浜で開催される公演の『アイドルマスター ミリオンライブ!』と連携して『ミリオンおさんぽツアー in みなとみらい』を開催。



〈回遊促進実験〉

## 環境対策事業

32,400 千円

みなとみらい21地区における業務・商業活動等を通じて、地球温暖化対策、循環型社会形成、生物多様性といったさまざまな環境問題に関し、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開し、スマートなまちづくりの実現に向けた取組を推進します。

## ○ スマートなまちづくりの実現に向けた取組

「環境未来都市」とその新たな展開を図る「SDGs 未来都市」や「イノベーション都市・横浜」等の横浜市の施策を踏まえながら、地区内関係者や行政、大学・研究機関などと連携して、「脱炭素化」の実現や「SDGs」の達成に向け、スマートなまちづくりを推進します。

また、2020年度に策定した、環境対策事業全体の新たな方針や「環境対策事業計画（アクションプラン）」に基づいて各取組を推進するとともに、積極的に情報発信します。

### ◇ 「スマートシティ」の推進



18,000 千円

【 企画調整部 】

### 【実施状況】

2019年度「新たなエリアマネジメントのあり方検討」で策定した方針や環境対策事業計画（アクションプラン）を中心に、以下の通りスマートなまちづくりを実現する取組を推進した。

#### 1. スマートシティの推進

##### ・スマートシティ実行計画の検討・策定

2019年度に「重点事業化促進プロジェクト※」として選ばれたスマートシティモデル事業（国土交通省）について、当地区の実行計画策定に向けて、昨年度作成した素案を基に、関係者と協議を行い、実施状況や他都市での参考事例等を確認しながら各取組テーマの課題・目標・基本構成等を整理して実行計画（案）の詳細検討を実施。横浜市、横浜未来機構や地区関係者とともに検討会3回を開催し、実施体制等の検討及び当地区のスマートシティ実行計画案の作成。並行して参加企業・団体の募集を行い、3月にコンソーシアムを設立して当地区のスマートシティ実行計画を策定、2024年度より運用を開始します。

※国が重点的に支援を実施することで事業の熟度を高め、早期の事業化を促進していく事業。

##### ・エネルギーの見える化と脱炭素化に向けた取組

当地区は、昨年4月に「公民連携で挑戦する大都市脱炭素化モデル」をテーマとして第1回脱炭素先行地域（環境省）に、横浜市とともに選定されており、ゼロエミッション分科会を中心に、横浜市や関係者と連携して脱炭素に向けた取組を推進した。

- ・ゼロエミッション分科会の開催（6月、10月、1月、3月）。
- ・7施設が新たに参画（合計41施設に拡大。）
- ・年度内に8施設で省エネ・再エネ設備の整備を実施（年間CO2排出削減量約230t相当）。
- ・雨水調整池を利用した追加性再エネ導入実施検討の公募を行い、5社を選定。うち2社と連携協定を締結（3月）。
- ・連携協定による既存再エネを活用した電力の脱炭素化に向けた連携自治体の3件追加。
- ・炭素化実現の基礎データ収集のため地区内施設エネルギー使用量調査依頼（7月）。
- ・当地区全体での脱炭素の取組を更に推進するため、地区内マンション宛に「各家庭での再エネ電力切替に関する説明会」を実施（7月）。
- ・当地区内飲食店他で生じる食品廃棄物等のリサイクル取組の一つとして、廃食用油を航

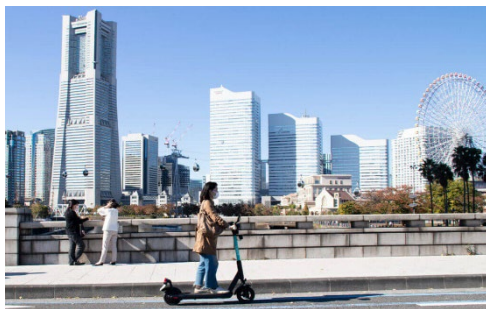


空燃料に再生する「Fry to Fly Project」に横浜市や地区関係者とともに参画。

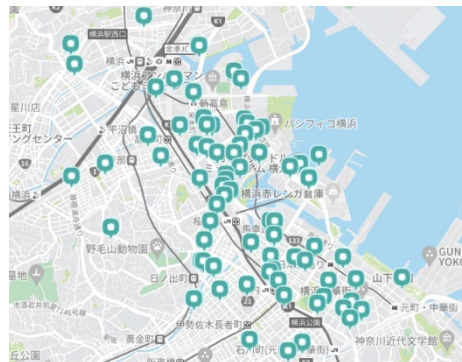
- ・ペットボトルリサイクルの取組「ボトル to ボトル」の具体化検討を横浜市や地区関係者等と行い、本年1月末～2月末に、飲料メーカーと共同で地区内37施設の参加による実証実験に取り組み、来年度下期からの本格運用に向けた検証・課題抽出を実施。
- ・2月のYOXO Festivalに、横浜市と連携して出展して、当地区の脱炭素の取組を広く地区内外に発信した。

#### ・モビリティ（移動体）による実証実験など

- ・**エコモビリティ**：8月に横浜市や地区関係者による当地区「スマートモビリティ検討会ワーキンググループ」で、「エコモビリティチャレンジ」の公募を実施。新サービスの実証実験や新たな技術・車両の展示等の提案が6社からあり、関係者と調整して当地区内での実証実験や展示・試乗の提案事業に関して検討を進め、展示・試乗会3回とイベント時の複数キッチンカーへの燃料電池バスからの電源供給1回及びカーシェア等の実証実験5回を実施した（～3月）。
- ・**パーソナルモビリティ**：「横浜市パーソナルモビリティツアー実証実験推進協議会」に参画し、有料公道走行実証実験を実施し、3月末までに200回のツアーを実施して、計570人の参加者があった。
- ・**電動キックボード**：本年7月の道交法改正に対応した、電動キックボードのシェアリング実証実験については、複数の大規模集客施設における本格稼働の検証及び回遊性向上に向けた検討を行うため、当社団との二者協定により期間再延長を実施した。3月末までの乗車回数は約140,000回。



〈ライドの様子〉



〈地区内ポート設置状況〉

#### ・みなとみらいスマートフェスティバル

実行委員会に参画し、関係者と協力のうえ、新型コロナの五類移行に対応して開催した（7月）。

## ◇水環境向上及び生物多様性に関する取組



5,800 千円

【 企画調整部 】

### 【実施状況】

2018年に沖に拡張した自動車護岸「実験場」に関して、アマモ場の観察調査及び情報発信を実施し、横浜港親水域の水環境向上取組を推進した。

#### 1. アマモ場の観察等継続と地区内関連取組みとの情報等共有

自動車実験場では、5月にアマモ観察と海の生物観測調査等を実施し、アマモの株数は減少したものの、十数株（最大66cm）の確認と多数の海の生物を観察した。7月には、アマモ観察と小型牡蠣殻礁や底質も含めた海の生物観測調査を実施し、3株（最大28cm）のアマモを確認するとともに多数の海の生物を観察し、その状況の写真及びビデオ撮影を行った。3月の生物観測調査ではアマモ4株（最大17cm）を2022年秋に播種した箇所で確認し、また多数の海の生物を観察した。



＜ 水環境向上・生物多様性＞

さらに、設備の追加と実験場継続利用のための補修計画の検討を基に、2024年度実施取組計画を確定し（12～3月）、国土交通省による臨港パーク潮入の池前藻場の取組との情報共有等の連携を継続した（～3月）。

#### 2. 適切な情報発信

4月、7月及び9月に、観察状況について、水中の写真や動画を当社ホームページに掲載した。

## ◇『緑・花』推進に関する取組



6,500 千円

【 企画調整部 】

### 【実施状況】

#### 1. 「ガーデンネックレス横浜」との連携

ガーデンネックレス横浜実行委員会と連携し、「みなとみらいガーデンライフ」（横浜農協花き春季持寄品評会、市内産花苗を使用した展示）を実施した。イベント終了後、品評会に出品した花は地区内の植栽として活用した（5月）。



#### 2. 「緑・花」の推進

・桜木町駅前広場において季節感を演出する植栽を実施した。（5月、7月、9月、11月、1月、3月）



## ○ 環境意識の啓発に向けた取組

### ◇身近なエコ活動の実施、検討



2,000 千円

【 企画調整部 】

#### 【実施状況】

##### 1. 身近なエコ活動の検討

脱炭素先行地域の取組と連携し、当地区内のオフィスや飲食店で発生するペットボトルや食品廃棄物のリサイクル等資源循環推進の取組について、地区内関係者や横浜市とその具体化に向けて検討・調整して、ペットボトルリサイクルの実証実験など可能な部分から先行取組を開始すると共に、脱炭素先行地域の取組と連携したサーキュラーエコノミーのイベントを「YOXO Festival」で実施した（～3月）。

また、地区内イルミネーションイベント「TOWERS Milight “UP”」に関して、トラッキング付非化石証書を購入して再生可能エネルギーを活用して行う（12月22日）とともに、昨年に引続き、「TOWERS Milight “DOWN”」も実施した（2月22日）。

##### 2. アースアワー2024

「アースアワー」への参加によるライトダウン活動など地区内一体となった環境対策活動を実施した（3月23日）。

### ◇環境対策委員会（部会）の開催



100 千円

【 企画調整部 】

#### 【実施状況】

第1回環境対策委員会（11月13日）

- ・2023年度上半期の事業執行状況及び今後の予定について第2回環境対策委員会（3月）

第2回環境対策委員会（3月）

- ・2024年度事業計画（案）について

### ◇地区内の清掃活動の実施



【 企画調整部・事業推進部 】

#### 【実施状況】

桜木町駅前広場、新港地区、グランモール公園において、清掃活動を定期的実施した。なお、7～9月については熱中症対策などに鑑み、気温の高い日の活動は中止とした。（活動主体等は次頁表のとおり）

活動主体	清掃箇所	実施日	参加者	制度
桜木町駅前広場活性化委員会	桜木町駅前広場	第1水曜日	約20名	ハマロード・サポーター
新港地区賑わいづくり委員会	運河パーク、 カップヌードルミ ュージアムパーク、 赤レンガパーク	第2水曜日	約30名	みなとみどりサポーター
グランモール公園愛護会	グランモール公園	第3火曜日	約160名	公園愛護会

みなとみらい21地区の状況や活動等を地区内外に情報発信するとともに、賑わい創出や街のイメージ・魅力の向上を図ります。

## ○ 都市観光・MICE等取組戦略

文化・プロモーション事業については、都市観光・MICE等取組戦略で定めた、ブランディング、情報発信力の強化等の「重点戦略」を、次に掲げるビジョン（【1】～【3】）に基づいて、関連団体等とも連携して実践していきます。

なお、「重点戦略」については、相互に関連性が強いものもありますが、本事業計画上では、中心となる戦略ごと分類して記載します。

- 【1】都市観光の取組戦略として、みなとみらい地区の魅力が多面的に発信し、様々な属性の来街を促進していきます。
- 【2】MICEと連携した取組戦略として、域内のコンテンツの魅力を磨き上げ、滞在時間の伸長や、回遊、域内消費を促進します。
- 【3】周辺・広域エリアと連携し横浜都心臨海部の魅力を最大化します。

### ◇ ブランディング

【 事業推進部、企画調整部 】



15,600 千円

#### 【実施状況】

地区内に、多くの音楽施設やミュージアム、R&D企業が集積していることから、地区内コンテンツをテーマ別に分類して、マルチブランディングによる展開を推進した。

##### 1 Music Port YOKOHAMA

- ・委員会名称を「みなとみらい21ミュージックシティ推進委員会」から「Music Port YOKOHAMA 委員会」に変更し、商標登録と委員会規約の改定を行った。また、関係企業及び団体等が相互に連携し、ブランディングを推進するため、「Music Port YOKOHAMA 委員会の名義使用承諾に関する事務取扱要綱」を定めた。(4月)
- ・第5回 Music Port YOKOHAMA 委員会を開催し、今年度の事業計画と進捗状況の報告を行った。(7月)
- ・第6回 Music Port YOKOHAMA 委員会を開催し、今年度の取組の報告と来年度事業計画の検討を行った。(2月)
- ・みなとみらい21地区内で実施される音楽公演情報をウェブサイトとサイネージ(みなとみらい線ホームドア、観光案内所(横浜駅・桜木町駅・新横浜駅))にて発信した。
- ・ウェブサイトでは、インタビューページをスタートし、現地取材による会場の紹介の他、音楽施設の作り手の声を聞くインタビュー記事を合計2件連載した。(10月、12月)
- ・Music Port YOKOHAMA の取組を広く発信し、認知・賛同・参画の促進を目指し、40周年事業



として Music Port YOKOHAMA のキックオフイベントを開催した（11月）。

- ・公演前後に地区全体でプロモーションを行いやすい仕組みを構築するため、40周年事業としてソニー株式会社の Sound AR™サービス「Locatone™（ロケトーン）」を用いて、『Music Port YOKOHAMA チャンネル』を開設し、Kアリーナ横浜で公演する『アイドルマスター ミリオンライブ!』と連携した、『ミリオンおさんぽツアー in みなとみらい』を開催した（2月）。

同時期に、同コンテンツと連携した回遊企画として『みなとみらいへ、ようこそ -M♡M-』を開催し、ノベルティプレゼントキャンペーン、コラボ装飾、コスモクロックの演出等を実施した（2～3月）。

- ・みなとみらい STREET MUSIC については、昨年度よりも、ミュージシャンや演奏会場を増やし（105組、24会場）、通常会場のほか、開港祭、BAY WALK MARKET 等、各種イベントとの連携により、多くの来場者の前で演奏できる機会の提供につながった（計605公演）。また、2024年度にむけて、出演ミュージシャンの募集（11月）及び選定を行った（～3月）。
- ・公演前後の回遊促進策について、横浜市と連携して検討を進めている。Kアリーナ横浜開業を契機とした市内回遊策として、「ゆず×横浜」を実施し、コスモクロックの演出や、みなとみらい STREET MUSIC 等による街なかコンサート、限定ノベルティプレゼント、コラボ装飾等、ライブ前後で街を楽しんでいただける企画を行った（9月、11月）。

## 2 Art&Museum

- ・ミュージアム施設の意見交換会を定期的で開催し、今後の展開等について議論するとともに、互いの施設を見学する機会を設け、相互理解の向上を図った。
- ・地区内ミュージアムの認知向上と回遊促進を図るため、20施設を掲載したマップを制作した（4月26日から配布開始）。
- ・夏休みにあわせて、主に自由研究や小学生をターゲットとして、特設サイトを開設（6月26日～）したほか、夏休み ver. のマップ制作（6月26日～8月31日配布）を行った。

## ◇ 情報発信力の強化

【 事業推進部、総務部、企画調整部 】



12,600千円

### 【実施状況】

#### 1 公式ウェブサイトとエリアマネジメント公式サイトとの運営

2021年度に更新した公式ウェブサイトによる情報発信について、情報を寄せられる仕組みが定着し、きめ細やかな更新ができてきている。これにより、年間のPV数やユーザー数は、コロナ禍前の2019年度を超える状況となった。

また、新たな取り組みとして「公式 Instagram」を開始し、若い世代にも情報をリーチできるようにした。

加えて、みなとみらい21地区着工40周年にあわせて、街の変遷や今後のビジョンを、様々な媒体で発信した。

#### 2 広報誌による情報発信

『みなとみらい LOVE Walker（地域情報誌及びSNS）』を活用して、地区内の施設やエリアでの過ごし方などの情報を発信した（7月、11月、3月発行）。

#### 3 みなとみらい21インフォメーション」冊子の更新

エリアマネジメントの取組を発信する媒体として、「みなとみらい21インフォメーション」冊子のデータ更新を行った（3月）。

◇連携強化



9,967 千円

【企画調整部・事業推進部】

【実施状況】

各種委員会等を通じて、地区 PR や賑わい創出等に資する取組を推進した。

1 みなとみらい21SP推進委員会

- ・夏：ポケモン横浜みなとみらいイベントにあわせて、地区情報ページに飛ぶQRコードを掲載したうちわを配布（8月8日～8月14日）
  - ・秋：みなとみらい21地区着工40周年事業 PHOTO CHRONICLE と連動して、地区内施設を巡るデジタルスタンプラリーを開催（10月20日～11月12日）
  - ・冬：イルミネーション等を、交通広告やSNS等でPR（12月1日～12月25日）。また、横浜ホテル創作カクテル実行委員会と連携し、7ホテルが創作した10カクテルを巡るバーホッピングの開催を支援。これにあわせて、Instagram キャンペーンを実施した（11月30日～2月29日）。
  - ・春：横浜春節祭2024との連携として物品協賛や獅子舞を実施（2月4日、11日～24日）。また、『アイドルマスター ミリオンライブ！』のKアリーナ横浜公演にあわせて開催された『ようこそ、みなとみらいへ -M♡M-』に協力し、地区内商業施設の装飾やノベルティプレゼントキャンペーンを実施。
- さらに、SNSを活用した広報展開を実施した（3月7日、25日）

2 各種実行委員会等による地区イベントの実施

- ・みなとみらい大盆踊りを開催（8月12日～13日、みなとみらい大盆踊り実行委員会）。
- ・「ヨコハマミライト～みらいを照らす、光のまち～」(11月11日～2月13日)
- ・「桜木町駅前広場 神奈川大学吹奏楽部演奏会」(11月18日)
- ・「TOWERS Milight UP/DOWN」(12月22日、2月22日)
- ・「桜木町駅前広場 春のスクールフェスティバル」(3月16日)
- ・「さくらフェスタ」(3月16日～24日)

3 その他

- ・劇場版『TOKYO MER』とコラボして、地区内商業施設を回遊するイベントの実施を支援（4月28日～5月31日）
- ・ポケモンWCSの開催にあわせて、地区内商業施設の装飾やパレードの実施を支援（8月8日～8月14日）

◇コンテンツの開発



500 千円

【事業推進部】

【実施状況】

劇場版『TOKYO MER』やポケモンなど大規模集客コンテンツと連携したイベントを開催することで、来街者の滞在時間伸長を図った。

## ○ 会議の運営・参画

### ◇文化・プロモーション委員会等の運営



【 事業推進部 】

#### 【実施状況】

文化・プロモーション委員会を2回開催した（10月24日、3月15日）。都市観光・MICE等取組戦略の推進状況の報告及び事業者ごとの取組状況についての情報交換を行った。

### ◇地図・サイン等更新事業



2,050 千円

【 事業推進部 】

#### 【実施状況】

みなとみらい21地区ガイドマップを更新（7月）。  
地図案内板8箇所を更新（3月）。



## 地域活性化推進事業（その他）

14,300 千円

会員相互の交流を促進し、新たなネットワークやエリアマネジメント活動を活性化するための取組を実施します。また、現在地区内に集積が進んでいるR&D施設等の連携を深めてオープンインノベーションの推進を図ることで、当地区の価値向上と活性化を促進する取組を実施します。さらに、会員や就業者等の声を聴取し、エリアマネジメント活動に役立てていきます。

### ◇地区内情報等の提供



【 総務部 】

#### 【実施状況】

会員への情報提供として、会員・施設設置者連絡会宛に、地区内情報やみなとみらい21地区着工40周年記念事業に関する情報等をEメールにより配信した。

(会員宛：59件 施設設置者宛：22件)

### ◇オープンインノベーション推進事業



9,000 千円

【 企画調整部 】

#### 【実施状況】

#### オープンインノベーションの推進

2021年度から活動を開始した「横浜未来機構」の事務局を担っている。会員大交流会やクロストーク等の交流機会を設けるとともに、11件の実証実験等のプロジェクトを立ち上げ推進するとともに、今年度新たに3件のプロジェクトを立ち上げた。さらに、アイデア創出ワークショップ、起業家マインド育成インターンシップ、人材交流事業（副業促進）、スタートアップ社会実証・実装プログラム等のイノベーション創出の土壌づくりを行った。

また、2021年度実施した市内大学との連携事業「SCORE」を引き継ぐ「YOXOカレッジ」や、MMスマートソリューションプログラムについても、当社団が事務局を担い、イノベーションを創り出す環境構築を進めた。2024年2月には第2回の「YOXO FESTIVAL」を開催。約55,000人以上の来場者を記録した。「YOXO FESTIVAL」においては、自動運転バスの公道走行実験など、MMスマートソリューションプログラム採択案件等のデモ・実証実験を実施した。

### ◇会員相互交流の機会の創出



3,500 千円

【 企画調整部・総務部 】

#### 【実施状況】

・「新年会員交流会」を開催した(1月)。



【 企画調整部 】

【実施状況】

上期（4月～9月）

神奈川大学エクステンション講座との共催により、従来より広範囲に告知を行って受講者の増加を図り、上期は4講座を実施して6回分が全て定員に達した。

神奈川大学エクステンション講座と事業連携による発展的解消の観点から、上半期をもって事業を終了した。

かもめスクール 講座名	
01 ～『銀河鉄道の夜』に登場する星や星座たち～ (講師：福岡市科学館 学芸員 丹野 佳代子氏)	03 「防災・減災対策」講座 (講師：横浜市西区役所 総務課 横浜市西消防署 総務・予防課)
02 横浜でクリエイティブな街を創る (講師：NPO BankART 副代表 秋元 康幸 氏)	04 「都市デザイン」って何！？-北仲南・北地区編- (講師：横浜市都市整備局都市デザイン室 都市デザイナー 桂 有生 氏)

## 横浜都心電波対策事業

29,600 千円

みなとみらい21地区および関連開発地区における建物建設に伴う周辺市街地のテレビ電波障害対策を実施するとともに、「横浜都心電波対策協議会」の事務局の運営を行います。

### ◇電波障害対策事業の実施



25,100 千円

【総務部】

#### 【実施状況】

##### 1. テレビ電波障害受信状況調査

みなとみらい21中央地区の開発状況に応じたテレビ電波受信状況を把握するため、52街区、53街区について、現地調査に関する検討及び調整を行った。

##### 2. テレビ電波障害対策

53街区開発に伴うテレビ電波障害対策工事について、検討及び調整を行った。

### ◇横浜都心電波対策協議会負担金



4,500 千円

【総務部】

#### 【実施状況】

##### 1. 総会・代表者会の開催

協議会の運営を図るため、総会・代表者会を開催した。

- 第25回総会・第39回代表者会（7月19日 書面開催）
  - ・2023・2024年度代表者会委員及び役員の選任について
  - ・2022年度事業報告及び決算・会計監査報告について
  - ・2023・2024年度運営委員会委員の委嘱について
  - ・報告事項：2023年度事業計画及び予算について

##### 2. 運営委員会の開催

協議会の運営を図るため、運営委員会を開催した。

- 第1回運営委員会（6月9日）
  - ・2023年度運営委員会役員の選出について
  - ・第25回総会・第39回代表者会への付議事項について
- 第2回運営委員会（2月9日 書面開催）
  - ・みなとみらい21地区 52街区「みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画」電波障害対策範囲策定調書（案）について
- 第3回運営委員会（3月22日 書面開催）
  - ・2024年度事業計画及び予算について

---

**公有財産及び広告スペース等の運用事業****55,000 千円**

---

**◇公有財産及び広告スペース等の運用****55,000 千円****【 事業推進部 】****【実施状況】**

クイーンズスクエア横浜内の公共空間における広告・イベントスペースの運用を行った。  
昨年度に引き続き、クイーンモール天井の耐震補強工事が行われており、クイーンズサークル、大懸垂幕等が時限的に売り止めとなっている。  
一方、みなとみらいギャラリーについて、年間約 92%の稼働率となり、コロナ禍前の水準に回復してきているほか、新規媒体開発や利用料見直しなど将来的な増収に向けた取組を進めている。